

神奈川県民協議会だより

こぶし



区の木：こぶし

No. 13

編集・発行 神奈川県民協議会
事務局 神奈川県役所区政推進課内
神奈川県広台太田町3-8
電話 411-7021
FAX 314-8890



第15期神奈川県民協議会は、「手をつなぎ やさしく住みよい まちづくり」をテーマに活動を続けてきました。部会活動、「地域のつどい」、ホームページなどについてお知らせします。(神奈川県民協議会は略称を区民協としています。)

平成22年度

区民のつどい開催

区民協議会主催の今回のつどいは、第15期の部会活動のまとめを中心に、区民協議会の仕組みや全体的な活動、ホームページのことや「地域のつどい」の様子などを分かりやすく紹介します。地域の皆様からいただいたヒントを元に設定した、第16期の活動テーマもお知らせします。多くの区民の皆様のご参加をお待ちしています。

手をつなぎ やさしく住みよい まちづくり

～神奈川県民協議会の活動報告～

白幡小学校コーラス コールダンヘル男声合唱団

日時 6月26日(土) 14時～17時(13時30分開場)

場所 神奈川公会堂

対象 区内在住・在勤・在学者

定員 400名(手話通訳付き)

申込 当日直接会場へお越し下さい。

一時保育利用の場合は事務局への事前予約が必要です。



当日、花苗の配布、区内産の野菜の販売もあります。配布や購入を希望される方は、なるべくエコバッグなどをご持参下さい。

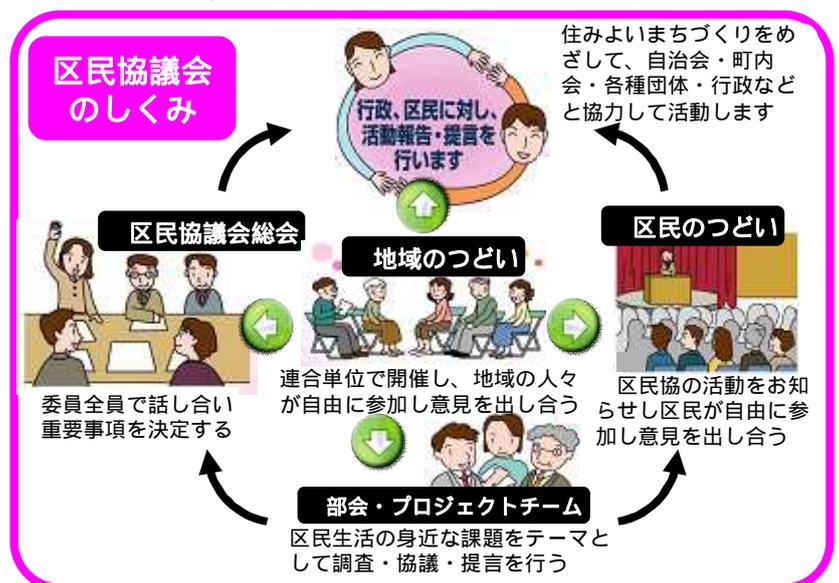
神奈川県民協議会は、住みよい神奈川区のまちづくりのため、いくつかの部会に分かれて活動しています。平成22年7月から始まる第16期の活動は、月に1回程度集まって、協議・検討・調査などを行い、活動の成果を関係機関などに提言していきます。

皆様も、さまざまな課題の解決に向けてご一緒に、活動に取り組んでみませんか？

活動のテーマの候補

- 機能を十分果たせる、安全安心な防災拠点等の整備について
- 要援護者や支援可能者を、緊急時のために、プライバシーに配慮して地域ぐるみで把握することについて
- 救急医療の現状と緊急患者の搬送について
- 区境における防犯・学区・避難場所等について
- その他地域の課題(*地域でさまざまな活動をする人材の発掘について)
- *中学生・高校生を地域につなげるしくみづくりについて、ほか)

・各課題につきまして一定の人数に達しない場合には、活動テーマとして取り上げないことがあります。



<http://42.tok2.com/kanagawakumin/> (「神奈川県民協議会」で検索してください。)

まとめに向け、いよいよ大詰め！

文化・教育部会

安心して子育てできる神奈川区

区内の保育所入所待機児童を少しでも減らすことをテーマに、活動してきました。実際の保育園を知るため、7・8月にかけて各種保育所6か所を訪問視察し、現場の入園状況や特徴、問題点を整理し、さらに訪問者の感想を記入した比較表を作成し、認可・認可外等の保育施設の違いを把握しました。

また、10月には区役所の保育園担当係に、法的な設置基準・待機児童の定義・保育士の配置基準・横浜市独自の基準等を質問し、回答を受取りました。これらのことを経て、部会として施設整備などのハード面ではなく、ソフト面での提案をしていく方向で検討してきました。他都市の調査なども行い、実現可能な案として下記を提案します。

1. 家庭福祉保育員の増加

施設・設備は既設の建物（民間家屋やアパート）を利用し、定員を5～6人の少人数とする。

2. 家庭福祉保育員資格の改善

横浜市では保育士か看護師の資格がなければならないが、子育て経験者に一定期間の講習教育により資格を与える。教員資格保有者も同様とする。

3. 家庭福祉保育員の経営基盤の安定

家庭保育福祉員を各種認可保育所の分室として設立し、経営基盤を安定させる。



都市・環境部会

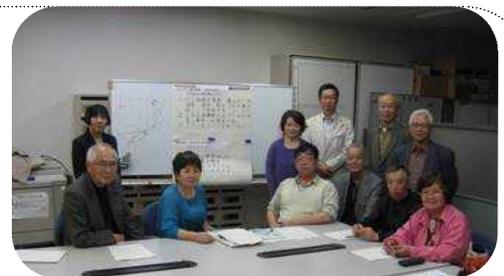
きれいな町・利便性の高い環境となるまちづくり

第15期の前半には当部会委員が現場を調査し、その状況を地域の皆様にご存知いただくことを目的に、昨年の「区民のつどい」で発表しました。横浜駅きた西口周辺は、横浜駅周辺大改造計画(エキサイト

よこはま22)の構想が動き出したことから、放置自転車等の移動台数が減少してきましたが、その反面、近隣の移動対象外の場所が「しわ寄せ」になり放置台数が増加しているため、放置されている絶対台数に変化はありません。放置・違法駐輪車に関して相談を受けることの多い自治会町内会は、とてもお困りのことと考えます。そこで、お困りの自治会町内会から「協力してほしい！」とのお申し出をいただいた上で、側面から放置・違法駐輪車の軽減に協力しようと考えました。

横浜市は「Co-Do30」の中で、公共交通機関を使おう！と呼びかけていますが、一部の「バス路線」の変更・廃止が行われたことで、利便性が高く温室効果ガスが出ない「自転車」の利用は、今後一層増えることが予測されます。そこで部会としては、「駐輪」する場所が十分に確保されていない現状が改善されるために、以下の通り提言します。

早急に「駐輪場対策」(増設・新設)に着手することを提言します。



防犯・防災部会

犯罪・災害から身を守るABCを広く知らせよう

区民生活の安全・安心な環境を目指し、防犯を主眼として活動してきました。

犯罪発生状況を知るため、神奈川警察署から各地区へ発信されている「日別犯罪発生状況」を活用して、平成21年1月から12月までの区内における犯罪発生総件数、種別犯罪発生件数、地区別犯罪発生件数及びその割合等を把握しました。

犯罪発生是件数及びその種別は、地域性や防犯への取り組み等に大きく影響されます。また、各自治会町内会はそれぞれの方法で防犯活動を行っていますが、他地区での防犯活動の実態は広く知られていません。

今回当部会では、各地域の特色、防犯活動組織、その活動形態等の「防犯アンケート」を区内185の自治町内会へお願いし、157の自治会町内会からご回答をいただきました。また、神奈川警察署防犯担当者との懇談会を実施して意見交換を行いました。これらの活動を通して、犯罪発生と防犯活動との関わり合い等々を検討した結果、下記の2点を提言します。

- ・区内発生件数で大半を占めている自転車及びバイク盗を減少させるため、適正なる駐輪場の設置を促進すること。
- ・当部会でまとめた犯罪発生状況及びアンケート結果を有効活用して、各地域における犯罪に対応するきめ細やかな防犯活動を行うこと。

なお、今回のアンケート結果は、各自治会町内会へ送付するとともに、区民協議会のホームページに記載しましたのでご覧ください。



福祉部会

手をつなぎ 広げよう 福祉の輪

「ヨコハマいきいきポイント」が実現されました。この制度は、65歳以上の高齢者が介護保険施設などでボランティア活動をすると「ポイント」が得られ、貯まった「ポイント」に応じて換金できる仕組みです。平成21年10月からこの制度が始まり、ボラン

ティア登録者数は2,000人を突破、受け入れ施設は178か所です。(平成22年3月現在)

元気な高齢者がボランティア活動をすることで、健康維持、地域との交流、生きがいづくりが実現し、これらを通して介護予防につなげるのがねらいです。

当部会は平成19年5月、他の区に先駆けて、この制度の検討を始めました。横浜市健康福祉局との勉強会を重ね、市内10区の区民会議(区民協議会)と合同会議(上写真)を開き、意見交換をするなど、中心的な役割を果たしてきました。さらに介護施設を訪ね、この制度の検証をしながら、問題点や提言をまとめました。

その他、「災害時の要援護者支援対策」「地域ケアプラザ新設の推進」「福祉マップ」など、地域住民の身近な課題を検討してきました。まとめとして

「ヨコハマいきいきポイント」の充実のために、ボランティアの活動範囲を拡大し、登録者が活動しやすい環境を整える。

自治会町内会、地区連合、地域防災拠点運営委員会などを中核とした「災害ボランティアネットワーク」を早急に立ち上げる。

の2点を提言します。



地域の皆さんの協力で「地域のつどい」を開催しました

地域のつどいの趣旨

平成21年春までの「地域のつどい」は、地域の諸問題を地域の皆様で話し合う場、と位置づけられており、地域でお選びいただいたテーマの下にお話し合いいただき、地域での様々な状況についての情報を共有していく機会としてご協力いただけてきました。しかし区民協は、地域と密接に連携を図り、より身近で充実した活動を展開することが求められています。そこで、従来型の「地域のつどい」を見直し、地域の皆様方からお困りごとの数々を、その実態、改善案なども含めご意見として広くいただき、それらを以下の通り仕分けをすることにしました。そして、特にCに類するものについて、活動テーマとして課題の改善、解決に向けて方策を検討し、関連行政や関係機関、団体などに連絡したり提言したりして、その結果を地域の皆様にお知らせすることにより、地域の皆様のお役に立つ団体として目に見える活動を目ざしていきます。



- A. 地域の単位自治会や連合自体で、解決を図ることが適当と考えられる意見・課題
地域の単位自治会や連合が直接行政の関係機関と対応して、解決を図ることが適当と考えられる意見・課題（区民協作成の「困ったときの窓口一覧」を提供します。）
- B. 区民協議会が地域、各種団体、また他地域などと連携し、共同で対応、解決に当たることが適当と考えられる意見・課題（地域と行政等との調整役として機能します。）
- C. 区民協議会の検討テーマとして取り組み、解決を図ることが適当と考えられる意見・課題（部会やプロジェクトを立ち上げ、課題の解決に向け活動し、提言します。）
- D. 区民協議会が検討した結果、行政等に対応や解決を依頼する意見・課題（長期にわたり解決の糸口が見出せない問題など、依頼案件の経過状況及び解決が可能か否かの結果を観察、報告します。）

平成21年度 地域のつどい開催状況

・平成21年12月12日(土) : 神之木・西寺尾地区	神之木地区センター
・平成22年 2月10日(水) : 松見地区	松見連合会館
・平成22年 2月20日(土) : 羽沢地区	羽沢スポーツ会館
・平成22年 2月22日(月) : 神奈川地区	神奈川地区センター
・平成22年 3月 6日(土) : 白幡地区	白幡地区センター

地域のつどいをふり返って



5地区で共通する問題としては、ごみの問題、カラス・小動物の問題等を予測していましたが、その通りでした。一方、同じ区内で生活していながら、下記のように地域によって「お困りごと」に差異があることにも驚いています。「高齢世代」の多い地区では、「将来、現在の自治会町内会が存続できるのか。」「存続のためには、小規模な自治会町内会の統廃合が有効な手立てではあるが、それでは培ってきた歴史や財産が失われてしまうのではないか。」との危機感が感じられました。一方「若い世代」中心の世帯が多い地区では、「子どもの保育施設の確保ができない現状を打開してほしい。」などの希望が多く、全く観点が異なることを認識しました。それ故に今後、提案・提言できる課題が見えてきたように感じました。「地域のつどい」は、できるだけ多くの区民の意見を聞く絶好の機会ですので、次年度以降も積極的に開催していきたいと考えます。



岡田区長との懇談会

平成21年9月24日(木)午後1時30分より、区役所5階区民活動支援センター交流室にて、区民協議会運営委員と区長始め、区基幹職員との懇談会が開かれました。

席上、文化教育部会長からは、不足する保育施設の現状を踏まえた上での区への対応について、都市環境部会長からは、白楽駅周辺の違法駐輪・バイクに対する取り組みを通じ、抜本的な打開策をも含めた区への対応について、防犯防災部会長からは、防犯に対する警察と行政との連携の現状と今後の展開について、福祉部会長からは、防犯防災部会の課題とも関連する、災害時に於ける要援護者及び支援可能者の名簿作りとプライバシー保護の問題について、質問がなされました。これらについて区長は、それぞれ難しい問題ではあるが、皆様と一緒に検討していきたい旨の話をされ、区民協の活動に対する具体的協力としてデータの共有をまず大切にする事などを上げられました。区などの行政側からのお声がかかりで集まったのではなく、色々な人々、そして地域と密接な関わりのある人々の集合体である区民協の活動に大いに期待をしているので、自負を持って頑張っていたきたいとお話をいただきました。



区民まつりに参加しました！

平成21年10月11日(日)反町公園で開催された区民まつりに神奈川区民協議会が初めて出展しました。フルーツとホットドックの販売、区民協のPR、認知度調査のアンケートの3本柱で行いました。晴天に恵まれ、準備した700食以上を完売することができました。また、区民協のことをご理解いただくために作成した小冊子を皆さんに配布することもできました。



ご協力いただいた認知度アンケートでは、区民協のことを知っている、あるいは名前を聞いたことがある方が7割を超えましたが、「地域のつどい」あるいは「区民のつどい」に参加したことがある方はそれぞれ3割前後でした。皆様の笑顔に励まされ、アンケートから見えた課題にもっと頑張ろうと思えた一日でした。

第15期・第2回 施設見学会が開催されました！



区内で行われている様々な事業や、環境に配慮した取組み等の一端を知り、部会の活動テーマの参考や具体的な活動を進めるために、年1回の施設見学会を開催しています。昨年の施設見学会は、11月4日(水)26名の参加で催され、都市計画道路横浜環状北線「新横浜出入口」「新生麦出入口」と「東京電力(株)横浜火力発電所」を見学しました。

「新横浜出入口」になる、新横浜発進立抗工事現場では、普段見ることができない立坑にメッシュの階段を踏みしめて降り、開削トンネルの工事状況を見学しました。安全を守るために分厚い鋼材等が大量に組み込まれているのには驚かされました。「新生麦出入口」は、トンネルの上にあたる子安台公園で、工事現場の状況の説明を受けながら、ここから繋がる生麦方面を眺めました。

横浜火力発電所では、環境への配慮を考えながら、自然エネルギーを電気エネルギーに変換し安定供給をしつづけていることを学びました。

環境を考えることの大切さや、自分たちにもできる身近なエコを考える有意義な施設見学会になりました。



第35回 区民会議交流会に参加して

平成21年11月26日(木)、中区波止場会館において、第35回区民会議交流会が開催されました。

昭和50年から始まった区民会議交流会。しかし、各区の活動意識、そして形態に変化が生じ、また市区財政も厳しくなる中、平成20年3月には市から、区民会議の活動は各区の状況に沿った形で進める、との方向性が打ち出されました。



区民の意識も変化し、地域における区民会議の活動の意義が見えない、区民会議の役割は終わった、等の意見もある中、各区の区民会議は、「自分達は何をすべきか」「自分達は何ができるか」を求めて検討に検討を重ねてきました。その変遷と今後の活動の方向性について、今回の交流会は、「これからの区民会議・市民活動を考える」のテーマのもと、これまでの区民会議の足跡や、数区の活動の現状の報告を聞くと共に、これからの区民会議、あるいは市民の手による「市民活動」としての区民会議を考えてみようとの趣旨で開催されました。

この中で神奈川区民協議会は、他区の区民会議に比較して、より地域との連携を旨とした活動を展開している現状を報告しました。また、新たに取り組む「地域のつどい」に対する考え方と、第16期区民協議会の活動に向けての新たなテーマの設定の仕方などについて報告を行いました。



第15期の活動をふり返って

第15期は「手をつなぎ やさしく住みよいまちづくり」をテーマに、76名の仲間と活動してまいりました。活動全般をふり返って特筆すべきことは、まず、今後の区民協のあり方、方向性を見据えた「区民協議会設置要綱」の制定や、「地域のつどい」の見直しに多くの時間、知恵、労力を結集したことではなからうかと思っております。また部会活動について、自分達の足元にあるような身近な問題を取り上げて提言できたことです。

近な問題を取り上げて提言できたことです。

加えて、自主・自立・主体性を前面に押し出し、活動してまいりました。

特に「施設見学」や「区民まつりへの初参加(ブースの出展)」において、企画・運営等を全て区民協の皆様により実施したことは、大変な自信と達成感を心に刻んだことと思います。

今後も区民協は、皆様が「住んで良かった神奈川区」を実感できることを目指して、精進いたしますので、ご支援、ご協力を期待しております。

編集後記

難しさ及び楽しさを味わい、そして区民協の活動を振り返ることができました。(T.A.)

「地域のつどい」で高齢者が懸命に発言する姿に感動を覚えました。聴き上手になりたいものです。(Y.S.)

みんなに力を戴いた楽しい広報誌作り。新しい世界が広がる素敵な経験になりました。

(K.T.)

楽しく作業することができました!!(M.S.)

一緒に汗をかいた仲間の想いを伝える難しさを知り、よい経験になりました。(K.M.)

沢山のものが得られました。人とのつながり、社会見聞、協議検討推敲する力。様々な場面で役立ちそうです。(M.U.)